

柚子の木だより

豊島区立教育センター
適応指導教室 No55
令和7年4月7日

正しい善悪の判断

新学期を迎え、皆さんも進級し学年が一つ上がりました。進級すると自分でも心身ともにひと回り大きくなったような気がしませんか。より充実した一年になるよう期待しています。特に、中学3年生は義務教育最後の年になります。この一年で、中学校卒業後の進路を決めなくてはなりません。高等学校などの上級学校に進学するか、それとも就職するかです。さらに、上級学校への進学を目指すなら、実際に受験する学校も決めなければいけません。進路は自分自身のことなので自覚し意識して取り組んで欲しいです。



さて、数年前に、日本の女子大生が世界遺産に登録されているイタリアの大聖堂に落書きしたというニュースが流れました。警察に捕まり「初めての海外旅行だったので記念に書いてしまった」と言っていたそうです。日本でも、最近多くの外国人が日本を訪れていて、日本の重要文化財を傷つけたとニュースになっています。こうした自分勝手なことをする人は極少数であるとは思いますが、その国の人達が大切に守ってきた文化財を傷つけることは許されることではありません。

日本の女子大生は、落書きは悪いことだとわかってはいたけど、誘惑に負けて落書きをしてしまったそうですが、最も困るのは、落書きを悪いことだとは思っていない人です。つまり、文化財に落書きしても傷つけても悪いことだとは思っていないのです。なので、注意されても、何で注意されたのかわからないだろうし、悪いことだと説明しても理解さえしてくれないでしょう。



人は何かが行おうとき、その行いが正しいかそれとも間違っているかを、自分の善悪の判断基準に従って行っています。正しいと思えば行い、間違っていると思えばやめます。つまり、人として正しい行いをするためには、まずは、正しい善悪の判断基準を持っていることが必要なのです。例えば「他人の物を取る」「人を傷つける」などは、悪いことだとほとんどの人は思いますが、悪いことだと思っていない人もいます。

さらに、正しい善悪の判断基準を持っているだけではだめで、悪いことはしないという強い心を持っていないければ正しい行動はできません。強い心を持っていないければ、女子大生のように悪いとわかっているのに誘惑に負けてやってしまうし、他人にそそのかされたりしてつい悪いことをしてしまう場合もあります。

とは言え、これまで一度も間違った行動をしたことがないという完璧な人間はいないと思います。こうした不完全さも人間の魅力だとも思います。しかし、なんでもなことするのだろう、周りが迷惑しているのがわからないのかなと思うこともあります。兎に角、正しい行動をするためには、まずは、何が正しくて何が間違っているのかといった、正しい善悪の判断基準を持つことです。

SST(ソーシャルスキルトレーニング)に参加してみよう

人は、家庭や学校、職場などでたくさんの人とかわかって生きています。それら自分の周りにいる人たちと良好な関係を築くことで、友達になったり仕事がうまくいったりします。その良好な関係を築く手段がコミュニケーションです。SSTでは、そのコミュニケーションを取る時に必要なことを学びます。一人ひとりの良いところを大切にしつつ、より自分らしく居られたり、コミュニケーションをスムーズにする方法を一緒に考えてみましょう。最初は見学だけでも大丈夫ですので気軽に参加してください。



- 1 日時 毎週水曜 10:00~11:00
- 2 担当 鈴木、金澤(SSW)

保護者会の実施について

今年度新しい取り組みとして、下記の通り、保護者会を行うこととなりました。保護者の皆様に、柚子の木教室の活動を直接説明させていただくとともに、保護者の皆様と職員との懇談も予定しています。詳細は、後日お知らせしますので、ご予定ください。

記

- | | | |
|-----|-----------|-------|
| 第一回 | 5月16日(金) | 15時から |
| 第二回 | 12月24日(水) | 15時から |
| 第三回 | 3月18日(水) | 15時から |

